

社会福祉法人 アカシヤの里 平成28年度事業報告及び決算状況

社会福祉法人アカシヤの里の平成28年度事業内容及び決算状況は、次のとおりである。

「自立・自己決定・人格の尊重」を基本理念として、利用者が尊厳を持ってその人らしく日常生活や社会生活を送れるように支援するとともに、地域社会や関係団体との連携を密にし、地域福祉ニーズに応える体制を整え、地域の知的障害者支援の拠点施設としての役割を果たすよう取り組んだ。

<事業内容>

障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）、短期入所、グループホーム、相談支援
（平成28年度の利用状況（平成29年3月31日現在））

アカシヤの里：	施設入所支援	49名	生活介護	61名
	短期入所	7名		

グループホーム（アカシヤ寮、さかえ寮）： 入居者数 10名

相談支援の状況	計画作成	137件	モニタリング	253件
	基本相談	212件	障害支援区分認定調査	11件

1 日常生活面における取り組み

- ・ 常時支援・介護を要する利用者への食事、入浴等の支援に関して、看護専門員を配置し、個々の身体状況やニーズに応じたよりきめ細やかな支援や、医療的ケアを含め良質なサービスを提供し、日常生活に必要な身体能力の維持・向上に努めた。
- ・ リハビリテーション専門医などの協力を得て、ストレッチ運動や日常生活訓練を行うとともに、生産活動・創作活動を提供し、施設での生活及び地域生活を営むための能力の向上に努めた。また、より質の良い農産物の栽培と販売を行った。
- ・ 全館の清掃を徹底し異臭の防止や施設周辺環境の美化等に努め、快適な生活を送れるよう配慮した。また、随時サービス検討会議を行い、利用者のサービス向上に取り組んだ。

2 健康の管理

- ・ 年2回定期健康診断を行うとともに、日頃から個々の健康状態を把握し、必要に応じて医療機関での迅速な対応により疾病の予防に努めた。
- ・ 給食業者と連携を密にし、安全で安心な食事を提供するとともに、栄養ケアマネジメントによる栄養健康状態の維持や食生活の向上に努めた。
- ・ 感染症防止対策について、ノロウイルス対策としては塩素消毒や手洗いの徹底、インフルエンザ対策としては予防接種と手洗い、うがいの励行等万全を期した。

3 各種行事

支援員会議等で十分に検討し、利用者がゆとりや楽しみを持てるような内容になるように努めた。特に、秋の旅行では、県外への一泊旅行を実施し行事の充実を図った。

また、保護者会、地域団体との連携を図り、利用者、職員、地域団体が一体となって行事運営を行った。

(主な行事)

5月	春のバス旅行	10月	アカシヤの里まつり
6月	親子レクリエーション大会	10～	
7月	七夕バイキング	11月	秋の一泊旅行
7月	納涼祭	12月	クリスマスバイキング
		3月	ひな祭りバイキング

4 相談支援

地域の障害者からの基本相談に応じるとともに、障害福祉サービスの利用の希望者に行政や関係機関と連携してサービス利用計画等を作成した。

また、行政と連携し、障害者程度区分認定調査員として障害福祉サービスの必要性を明らかにするよう協力した。

5 経営企画

男子居住棟の増築工事に着手した。また、さかえ寮移転に係る用地を取得し、建物の検討等を進め、更にグループホームアカシヤ寮及び地域交流センターの充実を図った。

6 職員資質の向上等

職員研修担当を配置し、各種研修会の参加や勉強会を積極的に行い、支援員の資質の向上に努めた。

また、職員の支援技術を一定レベル以上に維持するとともに、事故防止等に役立てるため、基本理念等検討委員会を設置し、支援の基本理念、支援指針、作業マニュアルなどの作成に取り組んだ。

7 地域交流と社会貢献活動

地域交流センターでの高齢者等への農作物の販売などを行ったほか、プールの地域開放やアカシヤの里まつりの開催などの行事を継続的に実施し、地域住民との交流に努めた。

また、定期的に保護者会と一緒に地域清掃活動などを行った。

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流動資産	134,774,808	流動負債	39,092,295
固定資産	314,407,538	固定負債	23,625,000
資産合計	449,182,346	負債合計	62,717,295
		差引純資産	386,465,051

事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目	当 年 度 決 算	備 考
サービス活動増減の部		
サービス活動収益計 (1)	383,096,811	
サービス活動費用計 (2)	358,084,029	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	25,012,782	
サービス活動外増減の部		
サービス活動外収益計 (4)	6,197,559	
サービス活動外費用計 (5)	216,941	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	5,980,618	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	30,993,400	
特別増減の部		
特別収益計 (8)	0	
特別費用計 (9)	0	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	0	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	30,993,400	
繰越活動増減差額の部		
前期繰越活動増減差額 (12)	118,957,540	
当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	149,950,940	
基本金取崩額 (14)	0	
その他の積立金取崩額 (15)	0	
その他の積立金積立額 (16)	0	
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	149,950,940	

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	134,774,808	流動負債	39,092,295
		固定負債	23,625,000
固定資産	314,407,538	負債の部合計	62,717,295
基本財産	62,279,256	純資産の部	
その他の固定資産	252,128,282	基本金	1,000,000
		国庫補助金等特別積立金	16,567,321
		その他の積立金	218,946,790
		次期繰越活動増減差額	149,950,940
		純資産の部合計	386,465,051
資産の部合計	449,182,346	負債及び純資産の部合計	449,182,346

資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位：円)

勘定科目	決 算	備 考
事業活動による収支		
事業活動収入計 (1)	389,294,370	
事業活動支出計 (2)	355,567,998	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	33,726,372	
施設整備等による収支		
施設整備等収入計 (4)	13,000,000	
施設整備等支出計 (5)	37,364,457	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 24,364,457	
その他の活動による収支		
その他の活動収入計 (7)	0	
その他の活動支出計 (8)	0	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	
予備費支出 (10)	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	9,361,915	
前期末支払資金残高 (12)	89,070,598	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	98,432,513	